

## 目標達成計画

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練は年2回行っているが、近隣住民の参加が少ない。 備品リストは出来ているが購入に至っていない。 自然災害のマニュアルの整備が必要。	避難訓練に近隣住民に参加してもらい、地域との協力体制を作っていく。 非常災害時の対応の整備を行う。	町内会長さんや今まで参加してくれている人に協力してもらいながら、近隣住民の避難訓練の参加を呼び掛ける。 備蓄品の購入。 断水・停電時のマニュアルを作成する。	1年
2	33	重度化や終末期については説明は行っていたが書面での共有は行っていない。	今後契約時や必要時に重度化した場合や終末期について、家族や本人と話し合い方針を共有する。 共有した事は書面に残す。	重度化や終末期に対しては説明を行い利用契約時に書面に残す。 今までも状態の変化に応じて、今後どうするかは医療を含め話し合いを行い方針を決めてきた事は継続する。 看取りは研修を続けスキルアップを図る。	1年
3	27	介護記録・経過記録の様式は分かり易いものだが、書き方に統一性がなく、肝心な部分が伝わらない。	「伝わる記録」を目指し、情報の共有・ケアプランへの反映に繋げていく。	リーダーが介護記録の書き方について、研修会に参加し、その伝達講習を行う。情報を共有しより良いケアに繋げていく。	1年
4	21	入居当時は上手くいっていた他者との関係が、認知症が進む中でトラブルになってしまっている。	認知症が進行する中で、穏やかに共同生活を送れる様にする。	個々の成功事例などを毎日のカンファレンス・ケア会議で話し合う。その時々々のケアをみんなで考え実践に結びつける。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。